



令和 8 年度
藤田研究開発課題

募 集 要 項
(藤田 pre A)

令和 7 年 12 月

藤田医科大学 橋渡し研究統括本部

目 次

I. はじめに	1
II. 橋渡し研究プログラムについて	3
III. 「藤田 preA」研究費について	4
IV 藤田 preA の募集について	5
1. 支援対象となる研究課題	5
2. 支援期間	5
3. 支援額および採択件数	5
4. 応募者資格	5
5. 応募書類の入手	5
6. 申請先	6
7. 申請期間	6
8. 審査	6
9. 採択可否の通知	8
10. 留意事項	8
11. 問い合わせ先	9
12. 参考資料等	9

I. はじめに

学校法人藤田学園は、藤田医科大学（藤田医科大学拠点）にて、文部科学省が実施する橋渡し研究支援機関認定制度において橋渡し研究推進に求められる体制の整備を行い、令和 6 年 11 月 19 日に「橋渡し研究支援機関」として文部科学大臣の認定を取得しました。

（文部科学省通知 https://www.mext.go.jp/content/20241114-mxt_life-000038828_1.pdf）

本学園は、橋渡し研究支援機関として令和 3 年 12 月に 11 機関が認定されて以降、初めて新規認定を受けた機関です。藤田学園・藤田医科大学拠点は一丸となり、また他拠点と連携し、我が国の橋渡し研究推進と日本発の革新的医療技術の実用化に貢献してまいります。

認定取得を受け、藤田医科大学拠点は、令和 7 年度より国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）・橋渡し研究プログラムの研究費支援の窓口となり、支援シーズの発掘、育成を推進しています。

藤田医科大学拠点では、革新的な医療技術の創出を目指し、独自の新たな支援プログラム「**藤田 preA**」を R7 年度より開始しました。本プログラムは、先端医療開発コンソーシアム（C-DAM）構成機関が有する先進的な技術や異分野のシーズを掘り起こし、未来の医療を担う医療技術の創出を目指す取り組みです。

AMED シーズ A が医療実用化に近い開発候補品を決定し、関連する特許出願を目指す段階である。一方で、基礎研究や革新的技術をシーズ A の段階まで進めるにはハードルが高く、シーズ A の前段階に焦点を当てた支援の重要性が高まっています。「藤田 preA」は、このニーズに応えるため、薬学や異分野技術を含む幅広いシーズを対象に、実用化を見据えた早期の研究支援を行います。

本プログラムでは、C-DAM 構成機関が有する技術を、シーズ A など次のステップへのスムーズな移行を可能にするため、研究開発の方向性の構築を支援するとともに、企業連携やスタートアップ設立を見据えた活動を促進していきます。また、異分野融合型研究開発支援事業（橋渡し研究プログラム）、創薬ブースター、BINDS などの機能を活用し、知的財産の確立や AMED シーズ A への進展を効果的にサポートします。

「藤田 preA」を通じて、C-DAM 構成機関内の革新的なシーズを発掘・育成し、医療技術の発展に寄与することを目指しておりますので、この機会をぜひ活用し、次世代の医療を切り開く挑戦をお待ちしております。

<先端医療開発コンソーシアム（C-DAM）構成機関（全 10 機関）>

- ・愛知学院大学
- ・岐阜薬科大学
- ・静岡県立大学
- ・摂南大学
- ・千葉工業大学
- ・名古屋工業大学
- ・奈良先端科学技術大学院大学
- ・藤田医科大学
- ・星薬科大学
- ・名城大学

（2025 年 12 月現在・五十音順）

II. 橋渡し研究プログラムについて (AMED 公募要領より一部抜粋)

事業の方向性：

橋渡し研究プログラムは、橋渡し研究支援機関を活用し、アカデミア等の優れた基礎研究の成果を臨床研究・実用化へ効率的に橋渡しするために研究費等の支援を行い、革新的な医薬品・医療機器等の創出を目指しています。また、臨床研究中核病院との円滑な連携を取り、支援を行うことで、医歯薬系分野以外も含めた拠点内外に埋もれている多数のシーズの発掘、支援をさらに促進する等、オールジャパンで橋渡し研究を効率的に推進します。

事業の目標、成果：

橋渡し研究プログラムでは、アカデミアの優れた基礎研究の成果を革新的な医薬品・医療機器等として国民に提供することを大きな目標としつつ、短期的には、支援シーズの実用化に向けたステージアップや企業等への導出、より開発後期の AMED 他事業に橋渡しすることを目指します。

フェーズに応じた戦略的シーズ開発：

橋渡し研究プログラムでは、研究の開発フェーズに応じた研究費枠を設定し、特許出願等を目指す段階から臨床 POC※取得を目指す段階まで幅広い開発フェーズに対応した研究費等の支援を行っています。

開発シーズは、特許出願に必要な研究と予算を見極めて「シーズ」に育てる早期開発段階（シーズ A、異分野）と、機関の支援によって開発が進み、実用化のための研究を行う後期開発段階（preF、シーズ F、シーズ F#、シーズ B、シーズ C(a)、シーズ C(b)）の 2 つのタイプに分けられます。

※ POC：Proof of concept：新薬候補物質や新技術の効果、安全性等が、動物実験やヒト臨床研究において認められること

橋渡し研究プログラムにおける研究の開発フェーズに応じた研究費枠：



AMED ホームページ「橋渡し研究プログラム」より

III. 「藤田 preA」研究費について

藤田 preA 研究費は、藤田医科大学独自の資金を活用し、医療実用化に繋がる技術（基盤技術含む）や薬学・異分野シーズの発掘・育成を目的としています。この研究費は、次のような特徴を持ちます。:

1. 革新的基盤技術の支援

AMED シーズ A では支援対象としにくい基盤技術や、革新的医療技術に繋がる種となるアイデアを早期段階から支援をします。これにより、次世代の医療技術創出への足掛かりを築きます。

2. 研究開発の方向性構築

初期段階から実用化を見据えた研究開発を支援し、明確な実用化イメージを構築します。これにより、AMED シーズ A や次のフェーズへの移行が円滑に進むことを目指します。研究状況によって AMED 異分野融合型研究開発支援事業（シーズ H）への申請もサポートします。

3. 企業連携・特許取得の強化

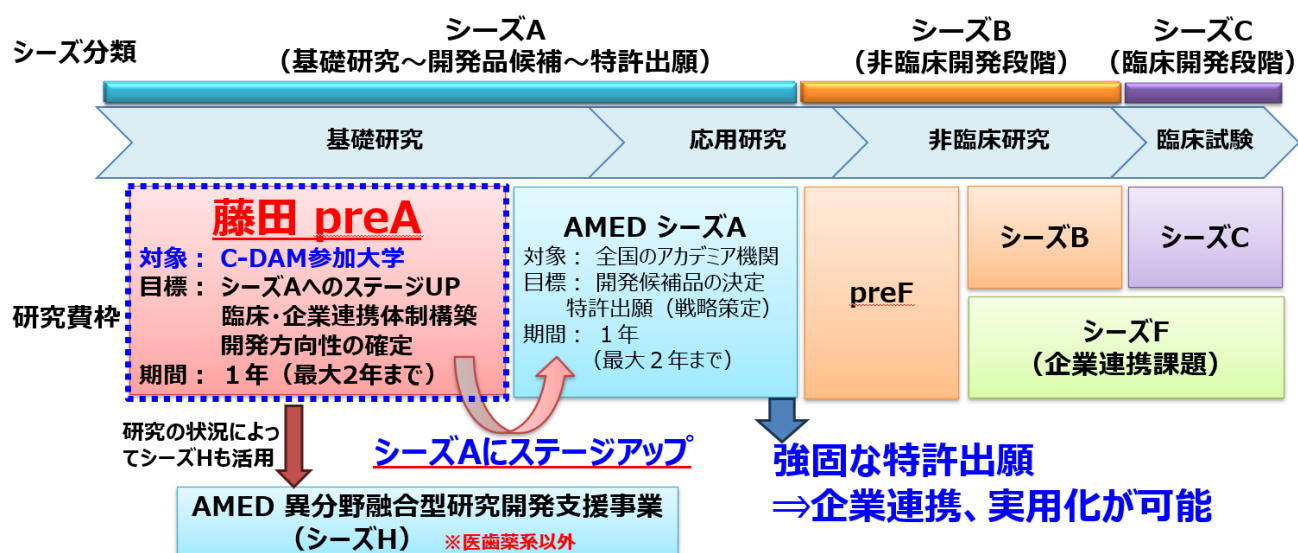
創薬ブースターや BINDS の活用を通じて、企業連携やスタートアップ設立を促進し、早期実用化や特許出願に向けた効果的な支援を行います。

4. C-DAM 構成機関におけるシーズ発掘の推進

本プログラムは、これから医療実用化へ進めていく足掛かりとなる機会となりますので、本公募を通じて、C-DAM 構成機関内でのシーズの発掘の推進に寄与していきます。

この研究費は、C-DAM 機関が有する先進的な技術を活用し、医療現場に新たな価値を提供する研究を推進します。

藤田医科大学拠点 C-DAM向け「藤田 preA」研究費設置



IV 藤田 preA の募集について

藤田 preA では、C-DAM 構成機関における次世代医療技術の創出を目指したシーズを広く募集します。

1. 支援対象となる研究課題

- 将来、薬事承認対象となる医薬品・医療機器・再生医療等製品・体外診断用医薬品の実用化につながる可能性のある研究開発課題（医療シーズ創出に繋がる基盤技術も対象）
- 医薬品・医療機器・再生医療等製品・体外診断用医薬品の開発に向けて、将来的にシーズ A を目指す革新的な医療シーズ
- 企業連携やスタートアップ設立を見据えた応用可能性のある研究

2. 支援期間

- ・令和 8 年 4 月 1 日～令和 9 年 3 月 31 日（原則 1 年間）

3. 支援額および採択件数

- ・支援額：1 課題あたり最大 200 万円/年
- ・採択件数：10～15 件程度

4. 応募者資格

- ・C-DAM 構成機関に所属している研究者
- ・藤田 preA の支援期間内（令和 8 年 4 月 1 日～令和 9 年 3 月 31 日）に退職などの予定がなく、申請時の研究環境を確実に維持できること
- ・科研費等の公的資金の管理が可能な研究者

5. 応募書類の入手

- ・下記 URL より申請書式及び募集要項をダウンロードしてください。

< 学内者向け（藤田医科大学） >

『藤田学園 教職員専用ポータルサイト』

URL : <https://info2.fujita-hu.ac.jp/hashiseeds/r8fujitaprea.html>

< 学外者向け（その他） >

『先端医療開発コンソーシアム（C-DAM）—公募情報—』

URL : <https://www.cdam.jp/recruitment/r8fujitaprea/>

6. 申請先

- ・作成した申請書類は下記 URL「シーズ登録申請フォーム」にアップロードしてください。

[橋渡し] シーズ登録申請フォーム

URL : https://redcap.link/fujita_seeds8

- (注意 1) 申請書のファイル名は「研究開発代表者名_機関名_提出日 (yyyymmdd)」としてください。
- (注意 2) 「PDF ファイル」と「Word ファイル」の 2 種類をアップロードしてください。
- (注意 3) アップロード可能な最大ファイルサイズは 100 MB です。
- (注意 4) 申請書類の受理は、藤田医科大学 橋渡し研究拠点事務局(ft-hash02@fujita-hu.ac.jp)からのメールをもって正式な申請完了となります。5 営業日以上経過してもメールが届かない場合には、本要項内の「11. 問い合わせ先」までご連絡をお願いいたします。
- (注意 5) 提出いただいた応募関連書類等の秘密情報は、藤田医科大学拠点内で秘密情報として適切に取り扱います。採択に至った課題については、応募いただいた資料等を拠点の支援活動のための基礎情報として活用いたします。また、C-DAM の連絡会・各種部会や、藤田医科大学拠点の活動報告のため、文部科学省または AMED へ研究課題名、研究開発代表者名を開示する可能性があります。それ以外の情報については、研究者への事前承諾なく外部機関 (AMED、文部科学省を含む) に開示することはありません。
- (注意 6) 採択課題名、研究開発代表者の氏名・所属については、拠点及び C-DAM のホームページにて公表いたします。申請する課題名は、秘密情報を含まないよう (特許出願に影響がないよう) をお願いいたします。

7. 申請期間

- ・令和 8 年 1 月 19 日 (月) ～ 2 月 20 日 (金) 【正午】 厳守

- (注意 1) 締め切り日時を過ぎた場合には原則受理できません。 (「応募フォーム」は、自動的にクローズされます)
- (注意 2) 提出書類に不備がある場合、不受理となる場合があります。余裕を持った対応をお願いします。

8. 審査

● 基本方針

- ・評価点に基づき、上位の課題から採択します。採択課題の選定にあたっては、次の点も考慮にい

れます。

◇ C-DAM 構成機関から、1 機関あたり少なくとも 1 課題を採択することを目指します。

◇ 評価点が一定以上（基準点）の課題を採択します。評価点が基準点を下回る課題については採択対象外とします。

<特記事項>

- ・ 評価点が基準点を下回る課題については、いかなる場合でも採択対象外とします。
- ・ C-DAM 内での連携や相乗効果が期待される課題については、応募内容の重要性や適合性を考慮しながら、審査において参考とする場合があります。連携の具体的な内容や期待される効果については、応募書類に詳細をご記載ください。

● 評価基準

1. 科学的重要性

- (ア) 新しい標的や作用機序に対する課題であるか
- (イ) 独自の技術を基にした課題であるか
- (ウ) 独自の研究成果に基づき着手された課題であるか
- (エ) 革新的な医薬品、医療機器等としてのシーズ創出が期待できる課題であるか

2. 研究計画の妥当性

- (ア) 医療応用の可能性を示すための原理確認を目指す計画がなされているか
- (イ) マイルストーンが設定されており、実現可能性の高い計画であるか
- (ウ) 研究計画を遂行するために必要な経費が計上されているか
- (エ) 研究計画を推進できる体制環境が整っているか

● 審査方法

- ・ 書面審査
- ・ ヒアリング審査（書面審査で確認が必要な事項があった課題のみ実施）

<ヒアリング審査について>

実施時期	令和 8 年 3 月上旬（予定） ● 申請者側の都合を勘案し実施を予定します。 ● ヒアリング審査の対象課題となりましたら事前に申請者まで連絡します。
実施打診	<u>原則 1 週間前までに</u> 、対象となる研究課題の研究開発代表者にメール連絡いたします ● ヒアリング対象外の場合や、ヒアリング自体を実施しない場合にはご連絡いたしませんので、採択可否の通知までお待ちください。 ● ヒアリング対象か否かに関する個別のお問い合わせはご遠慮ください。

実施方法	Web 形式で実施 ● ヒアリング審査の際にはプレゼン用スライド資料を事前にご提出いただきます。
説明者	研究開発代表者もしくは研究開発分担者

9. 採択可否の通知

- ・令和 8 年 3 月末

(注意 1) 対象研究課題の研究開発代表者宛に、メールにて通知いたします。なお、正式決定の通知書は、令和 8 年 4 月以降に発行します。

(注意 2) 選考途中経過についての問い合わせについては一切応じられません。

10. 留意事項

- ・ preA 支援経費の使途は、主に以下の内容に限定されますのでご注意ください。
 - ◇ 本研究遂行のために共同研究機関等との協議をするための費用（交通費等）
 - ◇ 必要とされるデータ取得のための研究費（消耗品費等）
 - ◇ 支援規模・期間を踏まえて、人件費に充てることをお控え下さい。（データ創出のために必要となる謝金は可能とします。）
- ・本プログラムは、研究費の配分を受ける機関において一般管理を支給額の 5% まで計上が可能です。5% を超える一般管理費の設定は控えていただきますようお願いいたします。
- ・令和 8 年度 藤田医科大学拠点シーズ A に採択が決定した研究課題は、本募集に応募することはできません。
- ・他事業との重複申請は可能です。ただし、支援するにあたり研究費の獲得状況も把握するため、獲得している研究費については提案書に記載ください。
- ・藤田 preA の採択課題は、橋渡し研究支援拠点が使用する AMED のシーズデータベース（AMED BRIDGE）に特段の要望がない限り登録しません。よって他拠点が実施するシーズ H への応募には支障がございませんので、応募の際には念のため応募拠点到その旨をお知らせください。
- ・採択された課題については、C-DAM の連絡会議や部会、橋渡し研究シンポジウム等で発表をお願いしております。まだ特許出願前で藤田 preA の研究内容を発表できない場合は、研究に至るまでの背景に関する内容でも問題ございません。ご協力をお願いします。
- ・支援期間終了時（令和 9 年 3 月中旬頃）に研究報告書を作成いただきます。ご協力をお願いします。

11. 問い合わせ先

<Web フォームによる問い合わせ>

- ・ 下記 URL 内の「お問い合わせフォーム」に内容を入力してください。入力されたメールアドレスに、お問い合わせいただいた内容について回答させていただきます。

URL : <https://redcap.link/seedsform>



12. 参考資料等

【藤田拠点ホームページ】

✓ 橋渡し研究プログラム

[橋渡し研究統括本部 | 藤田医科大学 - Fujita Health University](#)

以上